

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

エスディー・ジーズ

『SDGs(持続可能な開発目標)』

という言葉聞いたことはありますか？

SDGsは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、2015年の国連サミットで採択されました。貧困や格差、気候変動など様々な問題に対応する17の目標と細分化した169のターゲットが定められています。どれも社会に複雑に入り組んだ困難な問題ばかり。だからこそ老若男女の市民、企業、行政が手を取り合う“協働”の仕組みが目標達成には欠かせません。

スケールの大きな話で「私にできることなんて…」と思っていませんか？SDGsが定める解決すべき問題は私たちの身近にもあります。まずは身の回りに困っている人はいないか、地球環境の負担になっていることはないか意識的に探してみましょう。それがSDGs達成への第一歩です。SDGsに向けて動き出している市民団体や企業をご紹介しますようにたくさんあります！

事例1 **ながおか医療生協
フィットネスレインボー健康運動教室**

運動を通じて地域に暮らす方々に健康を届けることを目標とする活動は、ターゲットのひとつである高血圧など健康を脅かすリスクの緩和につながっています。

事例2 **フードバンクにいがた
長岡センター**

余っている食材を生活困窮者支援施設や児童養護施設等に届ける活動は、食品ロスの少ないまちへ近づけ、一人当たりの食料廃棄を半減させるターゲットの達成を後押ししています。

事例3 **(株)丸共/
(株)グリーンリード**

枝葉の焼却により発生する熱を電気に換え、野菜の水耕栽培に活用する取り組みをしています。エネルギーの効率的な利用は気候変動の緩和に関する具体的な対策といえます。

この団体ができること

私たち、「椿の森倶楽部」は
ミニSLの出前走行ができます！

和島地域の人々が明るく元気でいられるように、ミニSL、コミュニティカフェ、良寛研究などを軸にした多世代交流の場をつくっています。子どもたちが乗って楽しめるミニSLの出前走行を行っています。費用についてはお問い合わせください。



協力してほしいこと
ミニSL製作に必要な資金の寄付を募集しています。

活用しよう! **協働マッチングリスト**

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります！



センターからのお知らせ

長岡市未来を創る
市民活動応援補助金 New

長岡の未来を考え、その実現に向けて市民団体などが主体的に取り組む公益的な事業にかかる経費の一部を補助する「長岡市未来を創る市民活動応援補助金(未来共創補助金)」が今年度より創設され、ただいま申請受付中です！ご相談には随時対応いたします。やってみたい企画をお持ちの方は、構想段階でも大丈夫ですので、まずは協働センターへご相談ください！

申請方法 | 事業実施の3ヵ月前を目安に申請書を
協働センターへ提出してください。

8月～の事業	10月～の事業	12月～の事業	2月～の事業
5/31 締切	7/31 締切	9/30 締切	11/30 締切

補助金額	10万円まで	10万円を超える部分
補助対象経費について	全額	80%

※補助金額の上限は50万円ですが、高い公益性や波及効果などが認められ、将来自立して長岡の目玉となり得る事業については、100万円を上限に補助する場合があります。



くわしい概要は
コチラから

協働センター
Q&A
よく寄せられる
ご相談

Q.SDGsについてもっと知りたい！

A. 協働センターや国際交流センター「地球広場」では市内の取り組みの情報提供を行っています。協働センターの図書コーナーにはSDGs関係の本もあります。

Q.未来共創補助金は企業も対象になりますか？

A. 営利を主な目的とせず、長岡の地域や社会に広く利益をもたらすなど、事業の公益性が認められるかどうかを総合的に判断して決定することになります。

配布場所

長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

要チェック! タイムリーな情報と協働センターの日常



「@NkyodoCenter」



「@nagaoka_kyodo」



「@mytown0258」

知る、つながる、好きになる ながおか市民活動情報誌



Racotte
vol.88

発行 ● ながおか市民協働センター

2020
4
FREE

今月のインタビュー

女性の健康サポーター

平澤幸恵さん

活動地域
長岡



活動分野 | ヘルスケア

団体での役割 | 代表

得意技 | 胃袋をつかむこと

弱点 | しょう油顔イケメン

地域の将来を想うリーダー

廣川篤さん

活動地域
越路



活動分野 | 地域づくり

団体での役割 | 会長

得意技 | ギター

弱点 | つまらない会議

活動PickUp!

- 障がい児ママサポートかけはし〜長岡〜
- 花咲けみしま実行委員会
- NPO法人ピアの森・狐遊庭
- ヤマシタ家具店 長岡店

市民活動・虎の巻

『SDGsと“協働”のかかわり』

この団体ができること

私たち、「椿の森倶楽部」は
ミニSLの出前走行ができます！



毎週月曜日17時頃から放送中!

つながるラジオ

ながおか市民活動 紹介番組 FMながおか 10分程度放送
第5月曜日を除く **80.7MHz**



ながおかの市民協働のポータルサイト

コライト、見ないと!

協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。このページのバックナンバーも閲覧できます。

<https://nkyod.org>

コライト

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きました。

平澤 幸恵さん(57歳) 助産師／ウィメンズヘルスlab

1962年新潟市生まれ。看護学生時代の実習がきっかけで助産師に。1996年から長岡市内で訪問指導や産前産後のケアを行っている。



●初開催の講座でピンクリボンアドバイザーとして登壇した平澤さん。伝えたいことがたくさんあって、話をまとめるのは難しかったそう。



活動の根っこ

トライアル
アンド
エアー

平澤 幸恵

人生の後半戦は社会のために届け！リボンに込めたメッセージ

助産師の平澤幸恵さんは、仕事とは別に市民活動団体「ウィメンズヘルスlab」の代表として、女性が自らの健康に関心を持ち、女性特有のがんの早期発見と予防のための活動を行っています。

活動の原点は50代に入り「人生の後半戦は仕事とは別に社会のためになることをしたい」と漠然と思っていた頃、母乳相談を受けた女性の胸に怪しいしこりを見つけたこと。念のため乳がん検診を勧めましたが時すでに遅く、数年後、その女性は乳がんで亡くなってしまったそう。「もっと自分に知識があれば、早期発見や力になれたこともあったのではと悔やみました。また職業柄、母乳相談を受ける機会が多いものの、自分の乳がん知識が少ないことに気がつきました」。

その後、自ら乳がんの勉強を始め、乳がんの正しい知識を社会に広めるため主体性をもって行動する人に与えられるピンクリボンアドバイザー

を取得。女性に自らの健康に関心を持ってもらうため、団体を立上げ活動をスタートさせました。

初めての取り組みとして昨年、全国的に検診の受診率の低さが課題である女性特有のがんの特性や自己検診方法が学べる講座を開催。普段の仕事とは違う広報に苦戦しつつも、20代から70代まで幅広い世代が受講し、その反響から団体への出前講座の依頼も舞い込むようになりました。

団体として活動を始めたことで、仕事としてやっていたら得られなかったであろう広がりが見えてきたと話す平澤さん。今後は母子コミュニティでの出前講座や、がん当事者のサポートもしていきたいそう。「現在、助産師仲間や乳がん当事者などいろんな経験を持ったメンバーがいるので、様々な切り口で活動を展開していけそうです。みんな仕事や子育てもしているので、無理せず活動を続けていきたいです」。

廣川 篤さん(65歳) 運送業経営／越路もみじの会

1954年長岡市越路生まれ。創業者である先代から続く運送業を地元で営む。地元で受けた恩を次の世代に送るべく、積極的に地域に貢献している。



●越路中学校の新生に、会員が種から育てたもみじの苗を託す廣川さん。越路全体をもみじで一杯にしたいそう。

活動の根っこ

一歩づつ

廣川 篤

うに、毎春、越路中学校の新1年生に1人1本ずつもみじの苗木を贈呈してきました。その累計はなんと、4千本を超えるほど！また、総合学習やボランティアガイドの実習を通して子どもたちとの交流も深めています。「一本の木を育てる過程を通じて、動植物との関わりや他者への気遣い、ひいては自らの成長にも気づく契機となればと思います。もみじ園での学びが、地元愛や地域への誇りに繋がるといいですね」。

こうした活動には人手が必要で、もっと会員を増やしたいと考えています。「はじめは慣れない役割に尻込みしていた人も、今では進んでガイド役に手を挙げてくれます。協力者を集めるには、やはり一人ひとり口説いていくのがコツですね。活動に関わる人が増えると地域も元気になります」。これからも、木々が育つように一歩一歩着実に地域が発展していく姿を見守っていきます。



活動PickUp!

生の声は「ラジオ」「コライト」で

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します



障がい児ママサポートかけはし〜長岡〜

ママの思いを活動に

長岡



当事者ママである私たちだからこそできる支援を念頭に、障がい児のママや家族に寄り添った支援と、周囲に関心や理解を広めていく活動をしています。昨年は障がい児用迷子パスの代行販売や、ヘルプカードの周知活動、健常児ママたちとの座談会などを開催しました。また、SNSを使い、共生社会へ向けた情報発信も行っています。今後も、親なき後も子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを目指して活動していきます。

NPO法人ピアの森・狐遊庭

癒しの森でみんな笑顔に

長岡



がん患者やその家族、大切な人を亡くした遺族、そして毎日の生活に少し疲れた人の心を癒す場を提供する団体として、2019年12月にNPO法人として発足しました。ピア(Peer)とは英語で仲間。病氣治療を続ける仲間や支える家族が、同じ境遇のなかで素直に悩みを話し合い、支え合い笑い合える場として6,000坪の自然あふれる里山の中に、森の小さな茶の間を運営していきます。

花咲けみしま実行委員会

三島に花咲け 人も咲け

三島



三島地域の活性化のために、地域の人や企業と協力して種から花を育てています。育てた花は、春と秋に販売したり、コサージュにして三島中学校の卒業式で卒業生にプレゼントしたりしています。卒業生が胸にコサージュをして卒業証書を受け取る姿を見ると、感動と喜びで胸がいっぱいになります。今は、門松を作成販売できるように準備中です。これからも、花を育てることで地域に貢献していきたいです。

ヤマシタ家具店 長岡店

地域密着店舗として活動を継続する

長岡



新潟市の本店では、創業40周年を機に昭和61年からチャリティーバーゲンを開催。収益金の一部で各市の福祉団体へ毛布や羽毛ふとん等の寝具を寄贈し続けています。長岡市では、平成11年から取り組みを始め、20回寄贈しています。また、地域密着店として、イベントへの子どものお仕事体験ブース出店やコミュニティセンターの寝具選び講座などを実施。今後も依頼があれば地域の取り組みに積極的に参加していきます。

みんなの声

投稿テーマ

「これも協働!?」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿方法

投稿フォームを使う

QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。

協働センター窓口で投稿する

協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。



投稿者
ゆみあさん

この間、地元のお祭りで40年ぶりに高校の同級生にバツリ再会しました。白髪になってお肉もたっぶり蓄えていましたが、私の名前を呼んだ時の笑顔は変わっていませんでした。今年は雪がないので出歩きやすく、何年かぶりに行ったお祭りでの出来事です。たまには行ってみるものだなーと思いました。

投稿者
匿名希望さん

この間、ある人のことを思っていたらその人から電話がかかってきて。そんなことが3回続いていた。気持ちの電波みたいなものがピピピっとくるのかな?つながってるうー♪とすこい体験したと思いました!